

日本カンボジア文化産業振興会

第6回通常総会



令和4年6月12日に理事会及び通常総会を開催いたしました。コロナの規制が残る中での開催の為、日本側とカンボジア側を繋いでオンライン開催となりました。前年度の活動報告や今期の事業計画、活動方針を話し合いました。また、8月にはトビタテジャパン日本代表となった北陸大学・廣田美羽さんの受け入れも決まっており、彼女がプレアヴィヒア・スラエムで約1ヶ月行う支援活動を総合的にサポートできる環境づくりを当法人で行っていきます。事務局長補佐として理事の園田理恵さんが法人の仕組みや事務局長のサポートをしていける体制も整えていき、カンボジア現地の活動と共に事務局も若い世代が学びそして活躍できる環境作りを進めています。

世界遺産 14 周年式典

今年のプレアヴィヒア寺院世界遺産認定14周年式典は、スラエム村に完成したパゴダの完成記念式典と併せて開催されました。セレモニーは数日間行われ、メインの式典にはフン・セン首相の長男で次期首相のフン・マネット氏も来訪され盛大な式典となりました。次期首相の来訪日は警備も厳重になり、セレモニーへの一般参加は出来なくなりました。

当法人理事長も現地へ来訪、NAPV 総裁のプティカ氏ともお会いする事が出来ました。

式典のプログラムのひとつに池に魚を放流する項目があり、当法人が現地でサポートしている魚の養殖プロジェクトから放流する魚の準備をお手伝いさせていただきました。

カンボジアの入国規制が緩和後は、海外からの観光客も寺院へ来ている方も目にするようになっていきます。今後の更なる発展を当法人からもお手伝いしてけるよう頑張っていきます。

